

PhotoStage でフォトムービーを作る

1. Photo Stage について

Photo Stage は本来有料ソフトですが、私的目的と一部の機能制限の範囲で何時までも無料で使えるもので、配布中止になった Windows Movie Maker に代わるフォトムービー作成ソフトです。

Windows Movie Maker に比べ操作手順は少し増えますが、写真の縦横変更・異なる複数文字表示・DVD 焼付けまで出来る機能を持つ便利なソフトです。

動画ファイルとの組み合わせや、画像をレイヤーとして重ねそして動きを加える高度な使い方も出来ますが、それは次のステップの楽しみとして、今回は基本操作のみを説明します。

2. Photo Stage の入手とインストール

1) Photo Stage の入手

Photo Stage は会場後部 P C から入手出来ますが、事前に入手する人は下記のリンクを開いて DR して下さい。

[Photo Stage スライドショー作成ソフト](#) ファイル名は pstagefree.exe です。

2) インストール

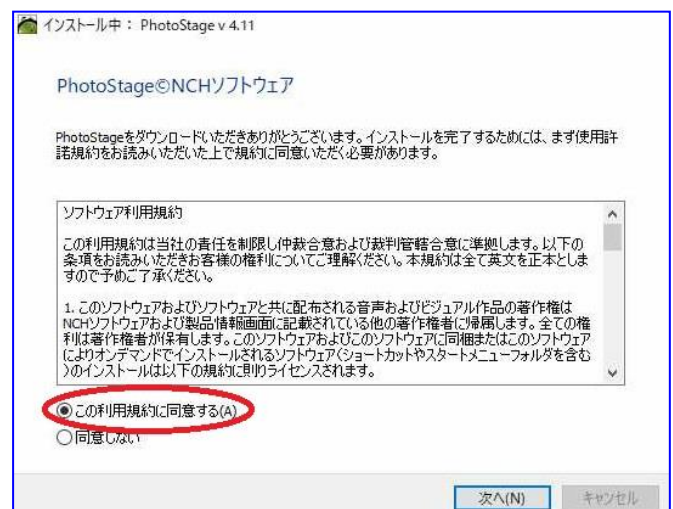
「PhotoStage スライドショー作成ソフト」を開きます。ダウンロードをクリック。

ファイル名は pstagefree.exe です。



を開くとユーザアカウント制御で、「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか」がでます。「はい/いいえ」で、「はい」を選択でインストールが始まります。

右表示では「この利用規約に同意する」にチェックをいれ **次へ** をクリック。



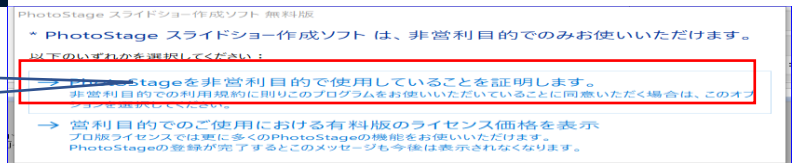
3. 画面説明と初期設定

1) PhotoStage 起動

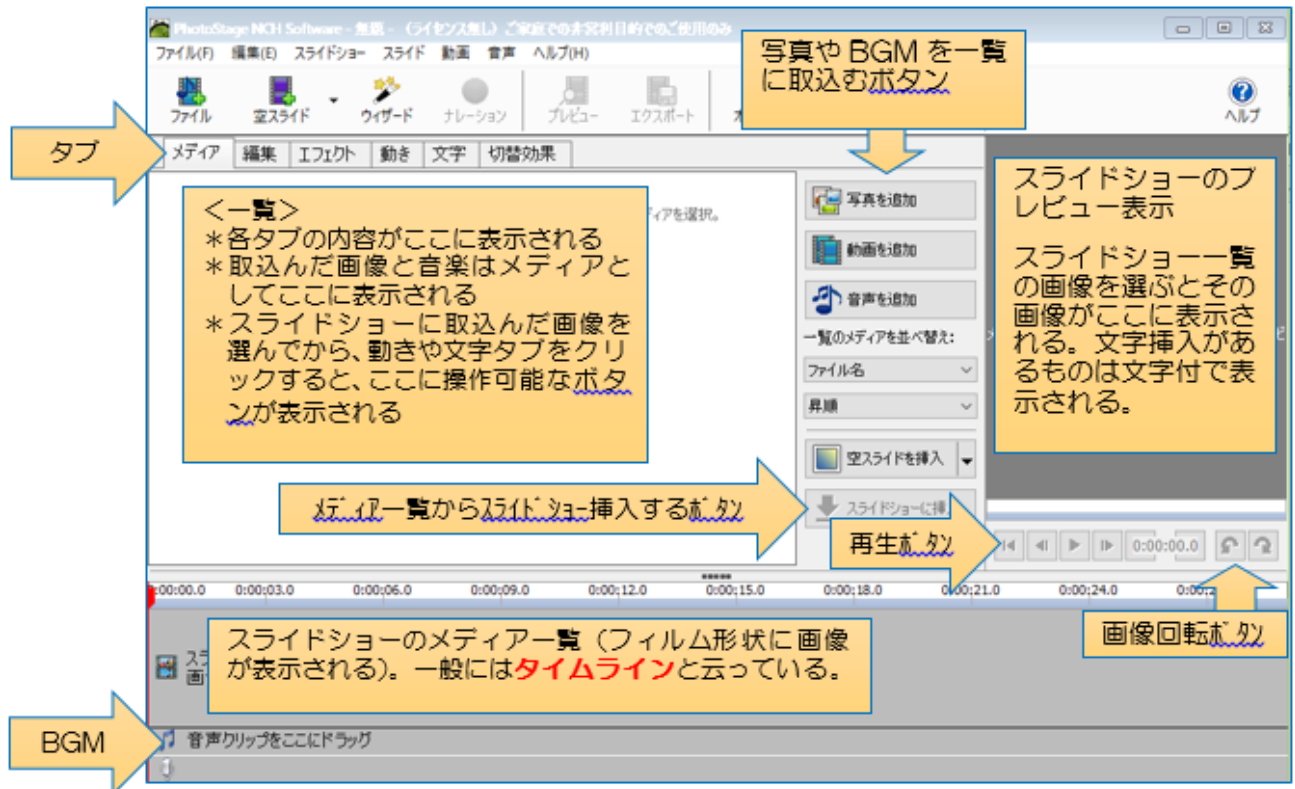


毎回下記表記が出ますが「非営利目的」を選ぶ

こちらを選びます



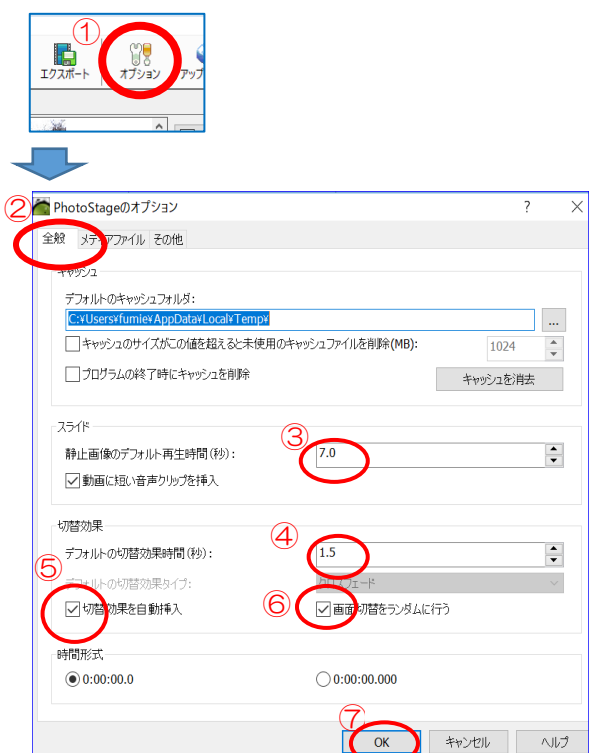
2) 画面説明



3) 初期設定

- ① オプションボタンをクリック
- ② 全般タブ
- ③ 静止画像のデフォルト再生時間(秒):7
- ④ 切替効果のデフォルトの切替効果時間(秒):1.5 秒
- ⑤ 切替効果の自動挿入に印入れ
- ⑥ 画面切替効果をランダムに行うに印入れ
- ⑦ OK クリック

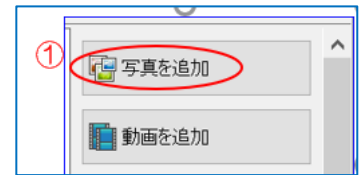
*PhotoStage に画面サイズ設定箇所はなく、16:9 が基本になっており、4:3 の画像を使用した時は両サイドが黒帯表示になります。



4. スライドショーに写真挿入

写真の挿入は、最初に PhotoStage がメディアと呼ぶ書庫のような箇所に取込み、次にそれをタイムライン（スライドショー枠）に挿入する2段階方式になります。

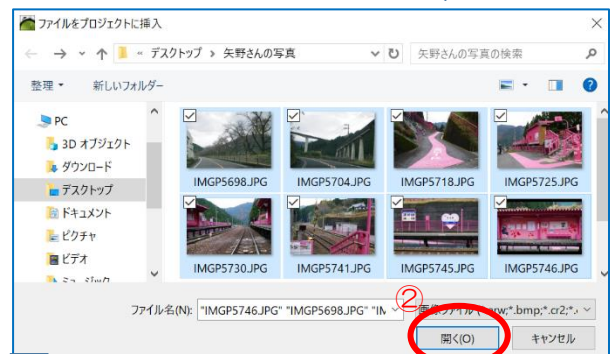
- ①[写真を追加]をクリック
- ②[ファイルをプロジェクトに挿入]ダイアログが開くので、写真を選らんで開く



写真保存場所は、左のエクスプローラを操作して探す

<写真の選択方法>

- *全部選ぶ：Ctrl+A をクリック
- *飛び飛びで選ぶ：1枚ずつ Ctrl+写真をクリックして選ぶ

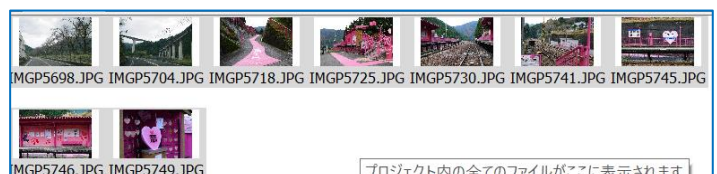


<メディアに挿入された状態>

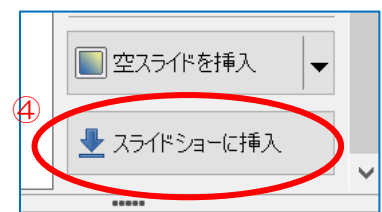


- ③タイムライン（スライドショー枠）に挿入する画像を選択する

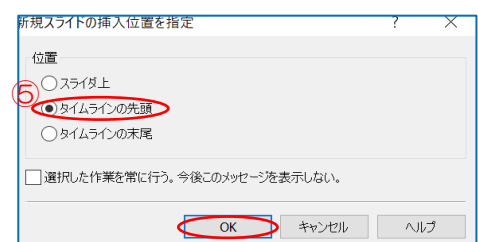
メディアに取込んだ直後は全画像が選択されているので、全画像を挿入する場合は何もしなくて良い。画像が選択を必要とする場合は先ほどと同じ要領で行う。



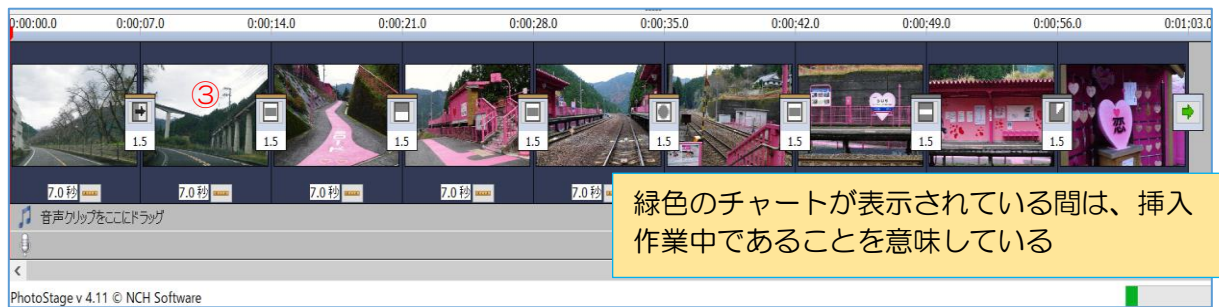
- ④[スライドショーに挿入する]をクリック



- ⑤[新規スライドの挿入位置を指定]ダイアログが表示されるので、[タイムラインの先頭]にチェックを入れOK



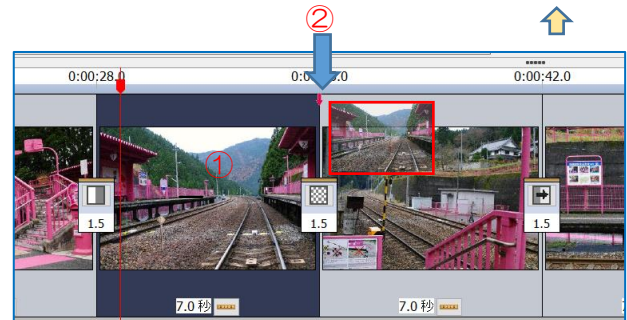
＜スライドショー一覧(タイムライン)に写真が挿入された状態＞



* 各種調整方法 *

A: スライド再生順序変更

- ①対象スライドを選択（紺枠で囲まれる）
- ②の小さな赤い矢印が出る位置までドラッグして離す。



B: 縦向き画像を横向きにする

プレビュー画面右下の矢印をクリックする。
(WMM には、無い機能で便利)

C: 特定スライドの表示時間を変える

- ①スライド下部の再生時間をクリック
- ②表示されるスライド調整ダイアログの中の時間を変更する
- ③適用するボタンをクリック

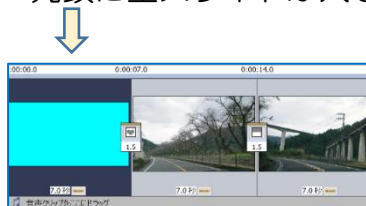
D: 空スライドを挿入

- ①空スライド▼をクリック
- ②色(空)スライドに色付けを指定しクリック
- ③色タイルから選びOKをクリック

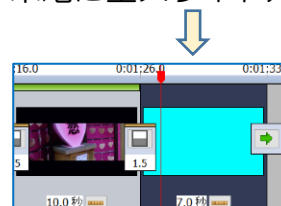
- ④タイムラインの先頭にチェック入れOK (クレジットの場合はタイムライン末尾にチェック入れる)



先頭に空スライドが入る



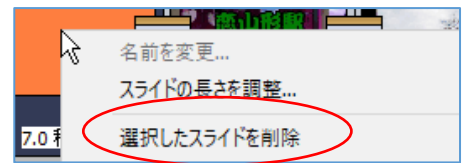
末尾に空スライド入る



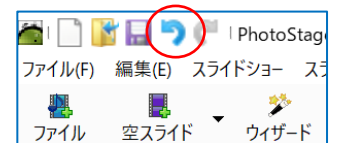
E. オープニングに任意の画像を挿入する

オープニングは空スライドに変えてムービー全体を代表する画像を挿入すると、一見して内容が分かり期待を増すことが出来て効果的です。

- ①先頭に入れた空スライドの上で右クリックして
「選択したスライドを削除」
- ②メディア一覧画像からムービーを代表する画像
を選択する
- ③スライドショーに挿入 ボタンをクリック
- ④タイムラインの先頭にチェックを入れる
- ⑤OK



F：元に戻す（word の元に戻すボタンと同じ機能）
全ての局面で使用可能です



5. 写真に動きを加える

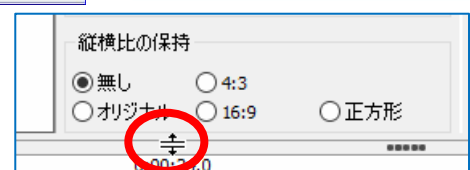
Windows Movie Maker のようなパン(横移動) & ズームはなく、ズーム方向と表示サイズを指定することでパン&ズームに近づく事が出来ます。

A：＜任意の範囲・方向ズーム＞

- ①画像（スライド）を選択
- ②動きタブからズームを選択
- ③右に上下に画像が出る。全体が見えるように下にスクロールする
- ④縦横比の保持の「オリジナル」に印入れ



＊ ＊便利技：画面上下の境界線にゆっくりマウスを近づけると、マウスポインタの形が図の様に変わります。この状態で上下にドラッグすることでタイムトラックの幅を調整出来、エフェクト画面全体が見えるようになることがある。作業に合わせて調整すると作業がし易くなる



⑤ズームインの時は、下の画像を。ズームアウトは上の画像を触る



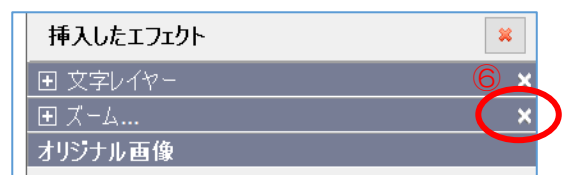
考え方

- * 下の写真を小さくすればムービーとしてはズームイン
- * 上の写真を小さくすればムービーとしてはズームアウト

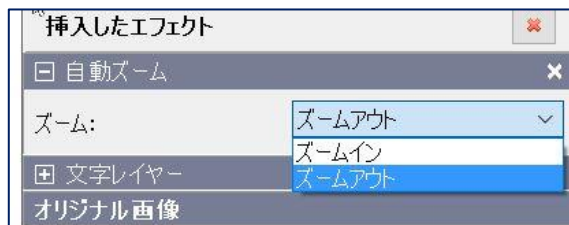
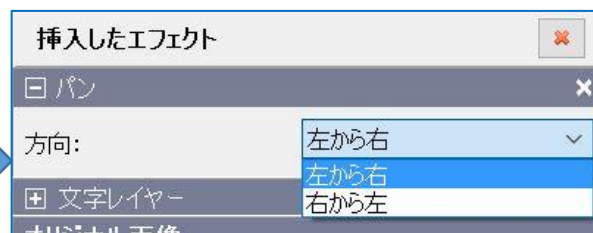
7秒の変化ですからあまり小さくすると動きが速すぎて見難いものになる



- * Word の画像縮小と同じ感覚で触って下さい
- * 小さくした枠はドラッグで移動可能です
- * 一括設定はないので、各スライドにこの作業を繰り返す
- * 動きは二重に入れることはできない
- * 設定した動きを変えるときは、一度動き（ズーム）を⑥削除して再設定する



B: <自動ズームもしくは自動パン>



- * 自動ズームではアウトもしくはインを選ぶ
- * パンでは左から右もしくは右から左を選ぶ

* 4:3 の画像に自動ズーム・自動パンを選んだ場合に、画像は自動で 16:9 にトリミングされて表示される。

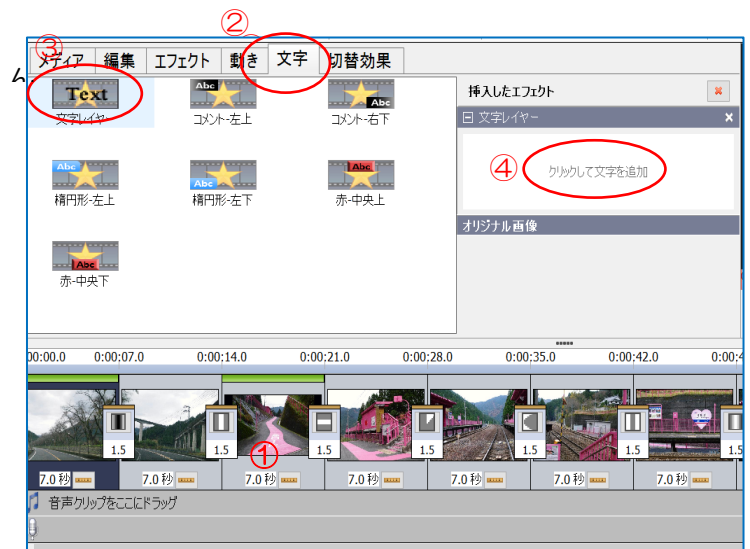
6. 写真に文字を加える

タイトル・キャプション・クレジット全て文字挿入として、同じ方法で行います。Photo Stage の文字挿入の特徴は、「レイヤー構造になっている」ことです。1 枚の画像に何枚もの文字画像を重ねることができ（GIMP の文字レイヤーと同じ事です）しかも、其々にフォントの種類・サイズ・動きを設定できます。

講座では時間の関係上、シンプルな組み合わせしか説明できませんが、各自色々工夫すれば素晴らしいムービーが出来上がると思います。

大きな文字サイズにすればタイトルに、画面下側に小さな文字で書けばキャプションに。縦に複数行並べて、スクロールさせればクレジットに。作り方はどれも同じです。

- ①文字を加えるスライドを選択する
- ②文字[タブ]を選択
- ③文字レイヤーを選択
- ④[クリックして文字を追加]をクリックすると文字入力ダイアログが表示されます。
- ⑤半角・全角キーを押して全角『あ』を確認する

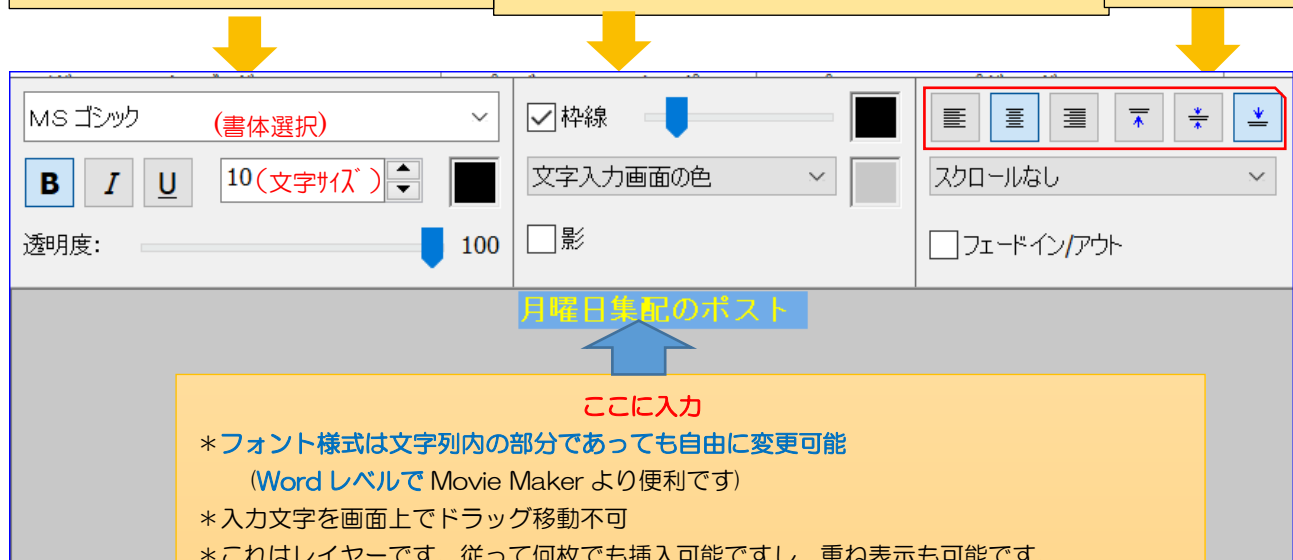


＜文字入力画面の説明＞

この辺は Word や Gimp と同じ。
但し、HGP 創英角ホップ体などが
反映されない欠点がある

フォント色を明るい色にし、濃い色の枠線をつけるとどんな背景でも読み取り易い。
枠線 にチェック入れ&一寸太く

文字表示位置



月曜日集配のポスト

ここに入力

- * **フォント様式は文字列内の部分であっても自由に変更可能**
(Word レベルで Movie Maker より便利です)
- * 入力文字を画面上でドラッグ移動不可
- * これはレイヤーです。従って何枚でも挿入可能ですし、重ね表示も可能です。
- * 文字列の折り返しは表示画像を見ながら判断必要
- * フォントタイプは記憶されるので、次のスライドでは、触る必要はないが、他は全部クリアされる
- * 長文を入力した場合は画像表示時間も調整する事
- * 横スクロール文字の場合は、改行せずに 1 行に打つ

⑤文字入力順序

- イ. 書体選択
- ロ. 文字サイズ選択
- ハ. 文字表示位置選択
- ニ. 枠線にチェック (必要な場合)
- ホ. 枠線のカーソルを動かす
- ヘ. 文字色選択 (文字色選択を最後に行うほうがスムーズに進みます)

- ト. 文字入力画面をクリック
- チ. 文字を入力
- リ. 異なる形で文字を入力する場合は
再度文字レイヤーを追加する

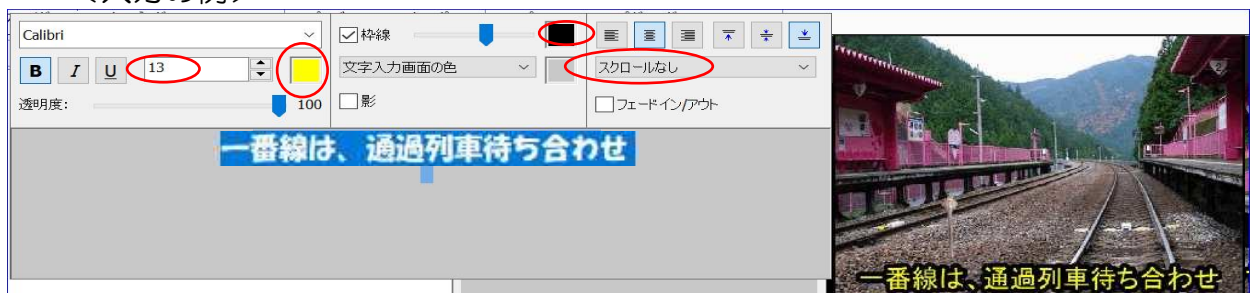
挿入したエフェクト	
⊕ 文字レイヤー	×
⊕ 文字レイヤー	×
⊕ 自動ズーム	×
オリジナル画像	

⑥プレビューで確認する

<文字設定のコツ>

- ①タイトルは大きなサイズで上部・中央表示。スクロールしないほうが良い。
- ②（文字レイヤーを追加して）日付は小さめサイズで右下に。
- ③（文字レイヤーを追加して）タイトル画面に説明文を加えるのも特徴のある画面になる。画面中央表示で下から上へのスクロールがお勧め。なお、説明を読む時間が必要ですから画像表示時間を、文字数に合わせて長くする必要がある。文字色はタイトルと違う色が好ましい。
- ④文字全体について、黄色＋黒枠がどんな画面にもクッキリ表示される（好みですが）

<入力の例>



- ⑤黄色や白色の場合は、入力文字を入力画面で確認できないことがあるので、入力時は黒で行い、完成後に色を変えたほうが良いこともあります。
- ⑥キャプションは下部・中央表示。通常は1行。スクロールはしないほうが良い。画面下部に見せたい部分がある場合は上部表示に。
- ⑦スクロールには4種類ある
- ⑧クレジットは中央、下から上へのスクロール。
- ⑨**文字挿入の前に画像動きに処理を済ませておく**ことを勧めます。事前に動き処理していれば、文字は画面に固定されたままですが、文字挿入後に画像動き処理を行うと、文字は画像と一緒に動いて隠れてしまい読み切れない事があります。

スクロールなし
上から下へスクロール
下から上へスクロール
左から右へスクロール
右から左へスクロール

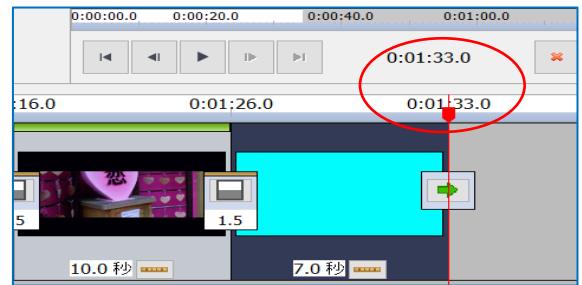
*** *PhotoStage の最大の魅力はここです、文字挿入色々をやってみましょう！！**

7. BGM 挿入

BGM は mp3 を準備する。CD の音楽は一度 WindowsMediaPlyer で mp3 取り込み設定で取り込んでおく。なお、youtube にアップする場合は著作権のある音楽はを入れてアップすると「著作権違反がある」として削除されますから、著作権のないものを使用する必要があります

A. 事前準備

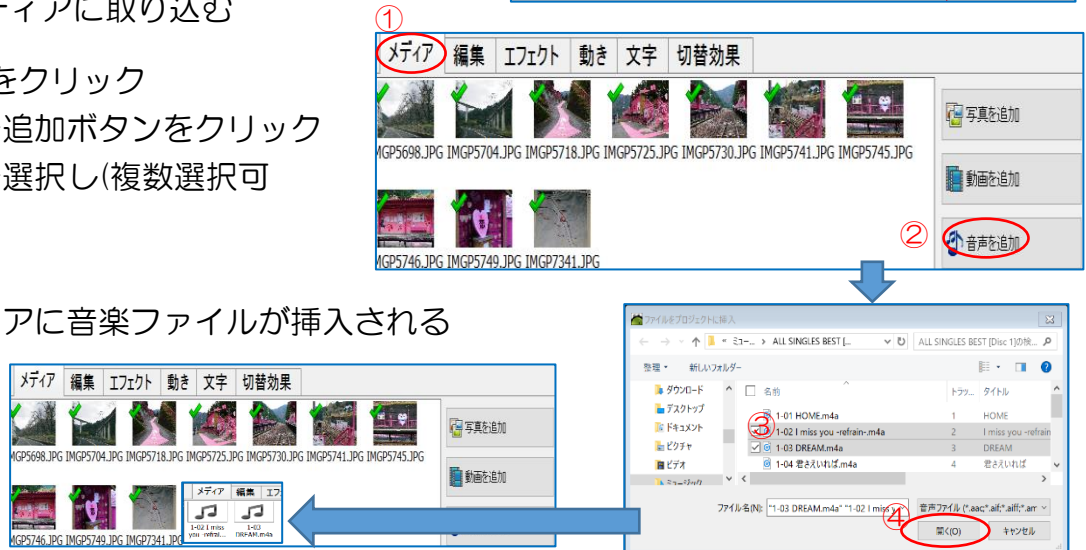
スライドショー再生時間を確認して置く
(タイムライン一番下のスライダーを右端までスライドして、最終スライドの時間を見る)



B. 音楽をメディアに取り込む

- ①メディアをクリック
- ②音声を追加ボタンをクリック
- ③音楽を選択し(複数選択可能)
- ④開く

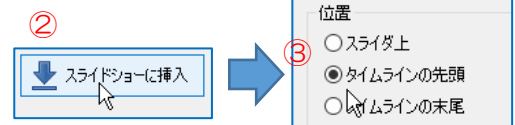
メディアに音楽ファイルが挿入される



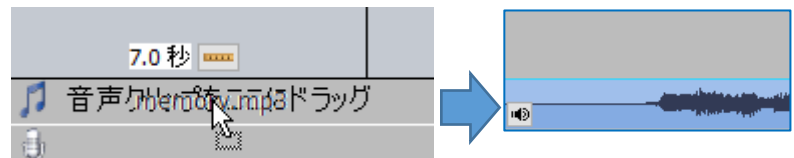
C. 音楽をタイムラインに取り込む

2通りの方法あります

- ①上記メディア一覧から音楽ファイルを選択
- ②スライドショーに挿入ボタンをクリック
- ③タイムラインの先頭にチェック→OK



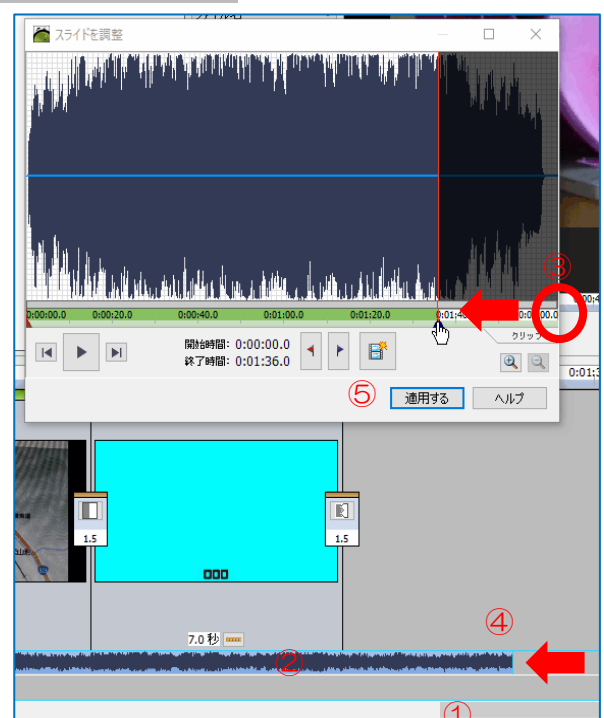
もう1通りは、選択した音楽ファイルを直接音楽トラックヘドラッグ&ドロップする方法です。



D. 音楽の諸調整

1) 長すぎた曲を調整する

- ①画面最下部スライドをドラッグしてムービー最後部が見えるようにする
- ②音楽トラックの上でダブルクリック
スライドを調整ダイアログが開く
- ③ダイアログの右端の小さな▼を左にドラッグする(掴みにくいので慎重に)
- ④音楽トラックが最後部スライドの位置に来るまでドラッグする
複数曲入れた場合に表示されるのは最後部の曲のダイアログだけなので、時間ではなくチャートだけを見る。

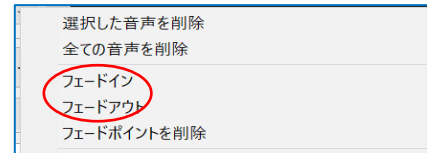


⑤調整するボタンをクリックする

＊尚チャート端をドラッグすることでも調整可能ですから、僅かな調整であればその方が早いです。

2)フェードイン・アウトを入れます

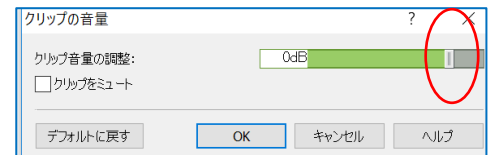
(段々と音が小さくなる) 音曲を右クリックし、フェードインもしくはアウトをクリック。長さを5秒(長さは好みで)



3) 音量調整

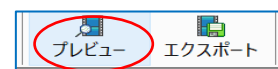
タイムラインのスピーカマークをクリック
表示されるクリップの音量ダイアログの緑色のスライドを左(数値はマイナス db になる)に動かせば音量小さく、右に動かせば音量大になる。

BGM はムービーの補助ですから音量低めが効果的です。-12db あたりに。



5) 再生確認

プレビューの再生ボタンをクリック。フル画面で見る場合はツールバーのプレビューをクリック。途中からの再生は再生したいスライドをクリックしてから、プレビュー画面の再生ボタンをクリック



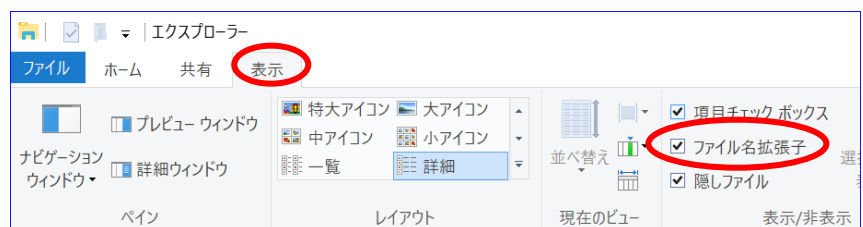
PCでのプレビューでは画面にチラツキが見えることがありますが、動画 avi や DVD にした場合にはチラツキ発生しませんから安心して下さい。

8. 保存

保存にはプロジェクトの保存と動画保存の 2 種類があります。プロジェクトは作業状態を保存するもので、作業途中でも保存でき、何時でも追加修正作業ができるものです。動画保存は完成したものを PC での鑑賞や youtube にアップするために動画形式で保存するものです。

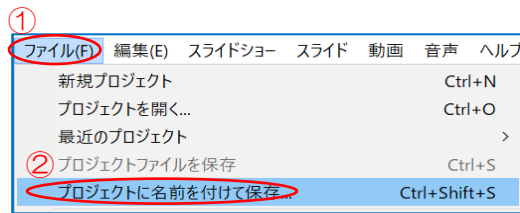
1) プロジェクト保存

＊事前準備として「拡張子」が見えるようにしておきましょう。どれでもいいですからフォルダを開く。表示タブをクリック、表示された画面の□ファイル名拡張子にチェックを入れる。

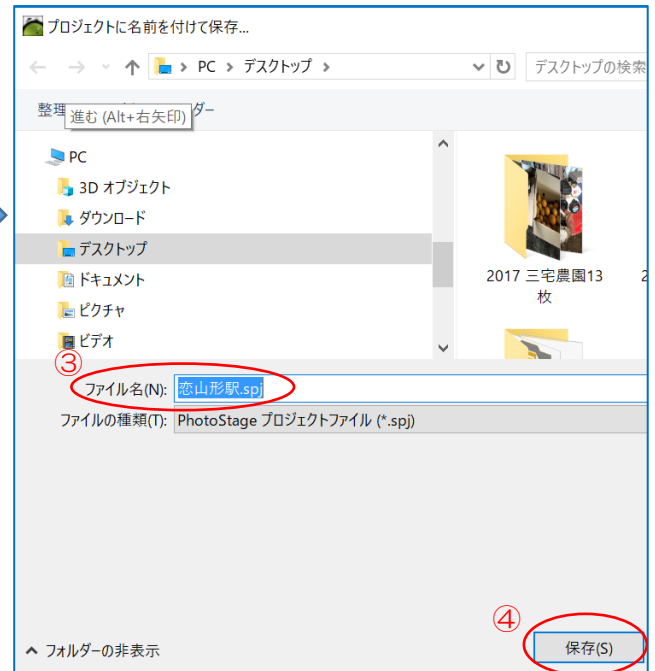


事前準備終了後はフォルダを閉じて PhotoStage に戻る

- ①ファイル[メニュー]から②「プロジェクトに名前を付けて保存」をクリックして、表示されたダイアログに③名前を付けて④保存。ここでは日本語名前 OK。拡張子は spj



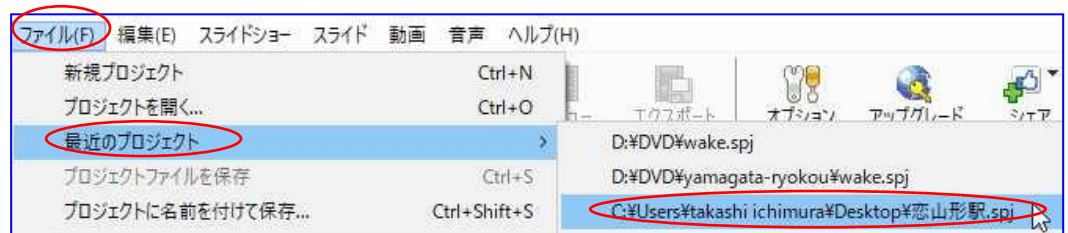
保存でアイコンが出来ました



*プロジェクトファイルは完成動画ファイルではありません。作業状態を保存しておく為のもので、これがあれば何時でも、作業を再開する事が出来ます。尚、使用した写真の保存場所を動かしたり、プロジェクトファイル保存場所を移動すると場所の関連付けが切れて表示できなくなります。

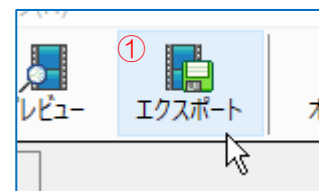
2) プロジェクトを開く場合は

プロジェクトファイルをダブルクリックすれば開きますが、そのファイルをどこに保存したか忘れている場合はメニューのファイル(F)から最近のプロジェクトを辿って容易に見つけることが出来ます。



3) 動画保存

- ①エクスポートをクリック
スライドショー出力設定ダイアログが開く



②コンピュータ/データをクリック

③参照をクリックして保存先を決める「ファイルパスを選択」ダイアログが開く

④名前を付ける日本語名使用可能。**保存**をクリック

⑥ファイルフォーマットの▼をクリックして **avi** を選ぶ（インストールして1ヶ月はmp4

保存出来ますが、1ヶ月過ぎてmp4を選ぶと「有料版購入して下さい」となりますから、無料使用出来るaviを選ぶ。

⑦**作成** ムービー容量とPC性能にもよりますが結構時間がかかります。

* 保存した場所を忘れる人が多いですね。 そんな時は、エクスポートをクリックしてこの画面を再度表示させて、一番上の保存先欄に表示されているパス⑤を読みましょう。直近に使用したパスが表示されています（ソフトを終了させてしまうと見えなくなります）。

9. DVD 書込み

①ツールバーのエクスポートをクリック

下記のダイアログが表示される

②ディスクをクリック

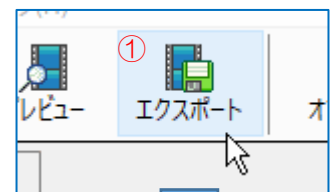
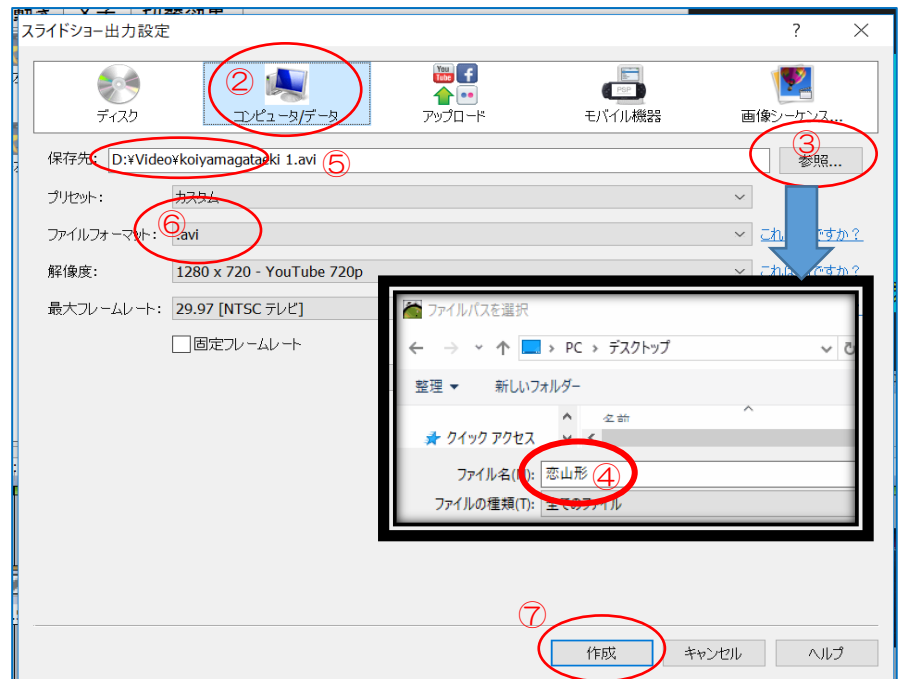
③DVD 動画をクリック

④作成

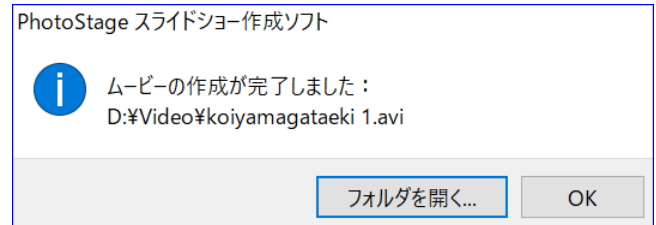
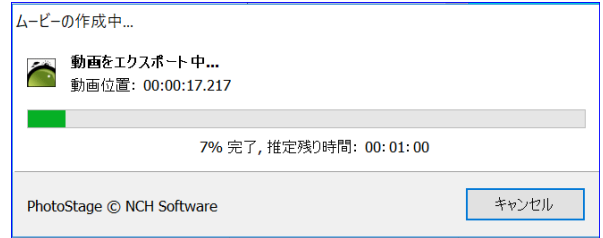
ムービーの作成中のダイアログが表示される。ムービー容量とPC性能によりますが、結構時間がかかります。

* ディスク名は触らなくても良い（触る場合は日本語を使わない）

* DVDトレーが一度開閉するので、トレー前に物を置かない事



*PC で DVD を再生するには、VLCMedia Player などの専用ソフトを必要とします



***インストールしてから期間が経つと以下のメッセージが出ることがありますがいいえを選んで下さい。本来有料ソフトとして作成されたものを、機能限定版として無料で使用しているものには、どうしてもこのようなメッセージが出ます。講座では全て無料で使える範囲の方法を指導しますので、有料になる方向を選ばないで下さい。

